

帰国・渡日の子どものための進路を保障するために
～18年間の育ちを支え、展望ある未来を！～

学習環境や学力保障の 課題について

松原市立松原南小学校 日本語指導担当
田本 和実

2021・12・7(火)

INRの子どもたちが ルーツのある国

- ・中国
- ・韓国・朝鮮
- ・ブラジル
- ・フィリピン
- ・フィジー
- ・ニュージーランド
- ・ミャンマー

大切にしていること

外国にルーツがある児童の 自己肯定感を高める

- ・母語保障と自立支援
- ・親の姿は、将来の自分のモデル
- ・日本語が上手に話せているのではなく、

〇〇語が話せて その上・・・！

親のすごさと 愛されていることに 気づかせる

自己表現力を高める

～自分らしく生きること
自分も周囲も幸せにすることができる～

・様々な 出会いと体験 ⇒ 自分を知る

・気持ちを伝える手段は 様々

表情・手話・口形・ジェスチャー
イラスト・文字・声 ☆気持ちカードの活用

受け入れて
くれると
感じられる
安心感

☆松原市の国際教室の紹介

- インターナショナルルーム(松原南小)
- 恵我南小(チャオリヤン教室)
- 松原東小(国際教室)
- 6中(ユニバーサルルーム)
- 7中(インターナショナルスタディズルーム)

《インターナショナルルーム》

- ・20名～25名
- ・7割の保護者が外国で生まれ渡日
そのうち半数が大人になってからの渡日
- ・家庭内言語は、母語のみが全体の4割
母語寄りの複言語が3割、残りは日本語
- ※助詞・形容詞・最後まで伝えきることが弱い
- ☆気持ちを表す言葉・その場に合う話し方の指導
- ☆SOSを発信できるような手立てが必要

- ・日本語が出来るか否かで、その人を判断されがち。
- ・子どもは 日本語が得意になり、母語の方が得意な
親との意思の疎通がスムーズでなくなる。
(わかってくれへん)(言うてもしやあない)
- ➡話さなくなる。友だちの前では、恥ずかしがったり
隠そうとすることもある。

☆母語教室

- ・母語とは…家族のふるさとのことば
- ・母語教室では、家族のふるさとのことばと、
その国の文化を学ぶ
- ・放課後 月1回 年間10回

☆交流会=つながることの大切さ (仲間は、人生の宝者)

《校内 インターナショナルルーム交流会》

- ・友達を1人誘って一緒に参加。
自己紹介をし、色々な国の料理や遊び、歌などをみんなで楽しむ。
- ・保護者・教職員・母語教室の先生・通訳の先生も参加する。

《中学校区 交流会》

- ・小学校2校中学校1校で年1回実施。保護者と教職員も参加できる。
- ・司会は中学生、自己紹介と、各校から母語での読み聞かせや、みんなで楽しめるゲームなどの出しものをして、みんなで楽しい時間を共有する。

《松原市 国際交流キャンプ》26年前から継続

- ・市内5年生から中3生までの、外国にルーツのある児童が対象。
- ・友達を1人誘って一緒に参加できる。(教師各校2名引率する)
- ・松原市の建物、奈良県の宿泊施設に一泊する。
- ・キャンプに向けて、自己紹介を含めた作文を各校で書いて参加する。
(自分のルーツやキャンプに臨む気持ち、悩んでいることなどを書いてくる子も多くなる)
- ・同じ学年の横割りグループや、5年生から中3生までの縦割りグループに分かれて、
ハートビーイング(心ほぐし活動)、飯盒炊飯、すいか割り、川遊びなどを体験し、夜のミーティングで
先輩講師(キャンプに参加して育った高校生や大学生)からの聞き取りと交流
- ・教職員と先輩講師による、反省会と意見交流
- ・全体交流会

地域連携

～将来を見据えて～

仲間がいる強み

- ☆ 一人じゃない 自分だけじゃない
- ☆ 楽しい 安心

一緒に活動することで 気持ちの共有ができる

友だちと一緒に 参加ができる

☆ 仲間の存在は

- ・同じ気持ちを持っている
- ・わかろうとしてくれる 喜び
- ・知ってくれているという 安心感
- ・もっと伝えたい(知ってほしい)という気持ちを高めてくれる

多文化共生学習

学年にいる 外国にルーツのある児童の国について知る

- ☆ 保護者に ゲストとして参加してもらう
- ☆ 子どもたちが **ゲストティーチャー**となる

- ➡ 仲間とのつながり=日常の集団づくり
- ➡ アイデンティティの高まり

☆ 多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が 互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

総務省多文化共生の推進に関する研究会より

- ・各教科で多文化に触れる視点が大切【カリキュラムマネジメント】
- ・ちがいでドキドキ多文化共生ナビの活用

すごいなあ もっと知りたい
自分も伝えたい 知ってほしい

☆ ゲストティーチャー体験

☆ ちがうことこそすばらしい! 子ども作文コンクール
～多文化共生社会を切り開く子どもたちの主張～

「ルーツあることが、嫌じゃなくて、
いいことになるんやね」

- ・全部の学年で、したい。今日したい!!
- ・思ってたよりも、楽しかった。またしてもいいで。
- ・みんなが、一生懸命聞いてくれたから、
もっと教えたいと思いました。やって良かったです。
- ・お前らばかりずるい!俺もしたい!
- ・もっと○○のこと、知らなアカんわ。それぞれ!!

作文コンクールに向けて

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 国際交流キャンプで、先輩から聞き取り | 共感 |
| 2. 保護者から聞き取り | 知る |
| 3. 一緒に作文書き | 共有 |
| →クラスメイトへお願いと進捗状況 | |
| 4. 書き終えた感想と報告 | 達成感 |
| 5. 表彰 認められた喜びと一緒に | 味わう |

子どもたちの つぶやき

《ことば》

- ・ママが怒ってるときって、何言ってるかわからん。
- ・どれが中国語でどれが日本語かわからん。
- ・〇〇ちゃんが言うこと、わからんけど、聞いてたらなんかわかるねんて。
- ・それ、ママの携帯でもできる？
- ・大丈夫。
- ・わからないは全部わからないよ。

《食べ物》

- ・韓国の料理食べたことない。
- ・私は、子どもに、フィリピンと日本の料理のいいやつつくってあげるねん。
- ・ブラジルのデザート。みんな食べて～!
- ・お弁当って、これであって？

生活状況の把握と支援

1. 情報保障
(やさしい日本語・ふりがな・翻訳・通訳)
2. 家庭での 親子関係の把握
・コミュニケーションの状況の把握
→互いに、伝えたいことが 伝えられているのか
3. 家庭との連携
困っていることの本音が話せるような、信頼できる関係づくり

困ったときに困ったと言える、
わからないことが聞ける 人間関係づくり

☆その子の背景を知る

- ・必要な情報が、必要としている人に届いているか
 - ・安心感をもって暮らせているのか
 - ・互いに伝えたいことが十分に伝えられているのか
 - ・本当に困っていることを伝えようと思える
- 信頼関係の構築は、日々の細かな心くばりから

<参考資料> 外国から日本に来た人に尋ねました!

わかりにくいことば こまったことば	わかりにくい理由	どうしたか どうなったか
『お手洗』	文字の意味を考えると、手を洗うところだと思った。	・必死でトイレを探した。 ・人には聞けなかった。
『いいです』	断るのか、するのかどちらの考えなのかわからない。	・要りますか? しますか? と尋ね返した。
『～思います』 『～けど』 『～かな』	良いのか、悪いのかはつきりしない。	・本当の気持ちがわからなくて困った。
『ちょっと～』	・みんながよく言う ・少しじゃなくても言う	・どれくらい思っているのか、わからない。
『大丈夫です』 『大丈夫ですか』	・要るのか、要らないのかを尋ねているのに、答えになっていない。	・知りたいことがわからないまま終わった。 ・大人も同じ話し方をしているから、正しい使い方なのかと思うけど、今も理解できない。
『けっこうです』 『考えておきます』	・断るとは 気が付かない。 ※敬語	・断られていることに気が付かず、話を続けて嫌な顔をされた。

「かまいません」 「かまいませんか」	いいです。いいですか? という意味とはわからない。 ※敬語	・わからないけど、うなづいてしまった。 ・イエスノーも答えられなかった。
「ぬくい」 「ぬくして」	・あたたかいという意味とは気が付かない。 ※方言	・わからないまま、話を聞いていた。
電車の乗り換え	・線が多すぎる。 ・同じ色の電車でも『普通・準急』など、乗り間違えたら行きたい駅に着かない。	・行きたい駅へ行けなかった。 ・到着したい駅の名前を見せて尋ねた。 ・何年たってもずっと緊張している。
上手(うまい)いと 美味(うまい)	・発音は同じ	・人をほめるときに「うまい」と聞いて、おいしいの意味ではないの? と考えた。 ・使い分けるのがむずかしい。
田上さん 上村さん	たのうえ・たがみ うえむら・かみむら ※名前の読み方	・名前の読み方が難しい。よく間違える。 相手に悪いと思う
手紙 娘 大丈夫	中国語 トイレットペーパー 中国語 お母さん・母親 中国語 立派な男	・漢字が同じでも、日本と中国では意味が全く違うから、会話が伝わらないし、理解できない。

☆おわりに

- ・自分のルーツを知るために、聞き取りをし掘り起こしをする。そこをくぐった子とそうでない子とでは、ゆれたときに、大きく違ってくる。仲間の存在をたくさん感じさせてあげる
- ・周りの子をどう育てるかは、互いにとって大切なこと。将来のモデルや展望となる先輩や大人の存在が必要。場の設定
- ・自分のもちあじの自覚をし、互いのもちあじの尊重をすることが大切
- ・もちあじや文化に優劣はない。
- ・好きなことがあれば頑張れる。楽しいことを見つけてあげる。
- ・その子が発した一言から、想像力を働かせて尋ね、本音を引き出す。
- ・アイデンティティは、他者との関係によって育ち、溢れ出てくるもの。
- ・傷ついたとき、落ち込んだとき自分に誇れるものとして、進んで行ける力をつけたい。
- ・ルーツは、自分を守ってくれるもの

《お勧めの文献》

☆サバイバル日本語

- ・ようこそOSAKAへ パートⅢ (ダウンロード可)
- ・みえこさんの日本語 (ダウンロード可)
- ・外国人の子どものための日本語 こどものにほんご 子どもの日本語研究会著
- ・かんじだいすき 日本語をまなぶ世界の子どものために
- ・にほんごを使いこなすことばプリント 深谷圭助 小学館
- ・たのしく勉強できる小学生の重要語句クロスワード1・2・3年生 深谷圭助監修 池田書店

☆多文化共生

- ・ちがいでドキドキ多文化共生ナビ ～在日外国人教育実践プラン集～
- ・国際理解ハンドブック「〇〇と出会おう」シリーズ (国土社)
- ・「世界とであう えほん」(パイインターナショナル)
- ・「せかいちずえほん」(パイインターナショナル)
- ・「せかいの図鑑」(小学館の子ども図鑑プレNEO)
- ・「世界のお弁当～心をつなぐ味レシピ 55～」河出書房新社
- ・「教室で使うみんなのことば」5冊セット 文研出版
- ・まんが「クラスメイトは外国人」明石書店

《絵本》

- ・「ふたりのサンドウィッチ」TOブックス刊
- ・「おんなじ、おんなじ!でも、ちょっとちがう!」光村教育図書
- ・「はがぬけたらどうするの?」
- ・「しあわせになあれ」瑞雲舎 《大切な名前についての学習にお勧め》
- ・「ランカ:にほんにやってきたおんなのこ」偕成社
- 《外国からの直接編入があったときには特におすすめ》

☆その他

- ・こどものための防災教室 身の守り方がわかる本 今泉マユ子著 理論社
- ・「いま、どんなきもち?」実践のススメ 沖本和子編著 解放出版社
- ・入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう 吉開 章著 アスク出版